

小学6年 理科「ヒトや動物の体」

ねらい

動物の便に着目して、前時までに学習した、消化・吸収・排出には胃、小腸、大腸、肝臓、じん臓が関係していることや、それぞれの臓器のはたらきを踏まえ、なぜ他の動物の便の様子がヒトと違うのかを本やネットで調べたりして表現することができる。

学習展開（8時間）

- ①ヒトが生きていくために必要なものは何かを考える。
- ②食べ物にふくまれるデンプンは、だ液によって、デンプンではない別のものに変化したことを知るために、だ液を用いた実験を通して理解する。
- ③食べ物は体のどこを通るのかをネットや教科書で調べる。
- ④ヒトが吸う空気と吐く空気は同じなのかを実験を通して調べる。
- ⑤心臓はどのようなはたらきをしているのかを教科書やネットで調べたり、実際に運動したりして、実感する。
- ⑥体の不要なものはどこに運ばれ、どのように体外に出るのかをネットで調べ、まとめる。
- ⑦他の動物の便を見て、なぜこのような違いがあるのかを本やネットで調べる。



指導のポイント

- ・skymenu におすすめの本のページを数枚載せた。おすすめしたページは、イラストがはっきりしたもので、見たら、動物によって体のつくりがちがうということをすぐに理解できるものにした。
- ・何冊、何ページある本の中から短い時間で情報を抜き取ることは難しいと感じたため、子どもたちに見てほしいページには予め付箋を貼った。
- ・ネットの情報に頼らず、複数の媒体から情報を得るように声をかけた。

学校図書館との関わり

- ・学校司書と相談し、便に関する本を10冊以上、準備した。
- ・なかなか調べ学習に進めていない児童には、イラストが多い本や短い本を紹介した。
- ・本から何を読み取ったらよいのかを「〇〇に着目してみてね!」と子どもたちが分かるように机間指導をしながら声をかけ続けた。